■□

矢臼別平和委員会**事務局短信**　2020・07.17　文責；中村忠士

□■

実動対抗演習で起きた問題で町に要請行動(7/16 12人参加)

6/30～7/8 に実施された陸上自衛隊第７師団（千歳）と第９師団（青森）による「実動対抗演習」の期間中に重大ないくつかの問題が起きました。

(問題・その1) 7/7 の午前７時過ぎ、ピース矢臼別の所有する２筆の土地を結ぶ生活道路上に約４０人の隊員が、道路を塞ぐように座ったり横になっていた。民間人が行き来する生活道路を演習場と同じように使うことは問題。

(問題・その2) 7/8 の午前４時ごろ、演習場の住人・浦さんが砲声を聞いたので自衛隊に確かめたところ、「105mm 戦車砲（空砲）を撃った」との回答があった。午前８時半前には射撃しないことになっているのに、約束を破って射撃したことは許しがたい。

(問題・その3) 7/8 の午後７時ごろ、別海市街のスーパーマーケットで十数台の自衛隊車両を駐車させ、大勢の隊員が店内で買い物をしていた。普段もあってはならないことだが、特に、新型コロナ感染対策にみんな努力しているときなのに、マスクをしていない隊員も多数いた。

こうした問題に対し別海町として、演習の指揮監督機関に謝罪と再発防止の具体策を求めるように…というのが、矢臼別平和委員会の要請趣旨です。

町長不在のため、代理として副町長が対応しました。

副町長は、（１）と（２）については事実であったことを確認した。自衛隊に抗議し、再発防止を求めた。特に、（２）については、町長名による文書で強く要請した。（３）については、事実を確認していないので確認のうえ事実であれば、抗議・要請すると答えました。

矢臼別平和委員会からは１２人が参加。「時間外の射撃はこれまでも何度もあった。その都度謝罪しているが、また起きた。口先だけではだめだ。文書で返答をもらうくらいのことをしてほしい」など、強く要望しました。

副町長から、「自衛隊側に説明を求める。説明があった段階でまた懇談する。」との発言があり、この日は散会しました。

在沖縄米海兵隊移転訓練は中止になりましたが、「ぬさまい橋大スタンディング」(8/1) は実施

8/1(土)　午後１時半から２時まで、平和のためのスタンディングやります。

横断幕やプラカードなど持って、集まりましょう。

次の例会、７月 30 日(木)は変更しません

移転訓練はなくなりましたが、7/30 の例会は変更しません。13：00 集合です。